

令和2年度（2020年度）総務常任委員会管内視察の概要

- 1 視察日 令和2年（2020年）10月14日（水）
- 2 視察者 総務常任委員会（8名）
増永慎一郎（委員長）、松村秀逸（副委員長）、吉永和世、坂田孝志、西 聖一、山本伸裕、高島和男、荒川知章

3 視察の概要

（1）東海カーボン株式会社田ノ浦工場（芦北町）

同工場は、半導体や太陽電池に使われる黒鉛材の主力工場であるが、令和2年7月豪雨で工場全体が浸水し、工場内の黒鉛化炉に雨水が入り込んだことにより、水蒸気爆発を起こし、火災が発生した。

今回の視察では、当時の被害の状況、現在の復旧の状況等について説明を受け、工場内を視察した。



工場長からは、今回の火災は、豪雨による雨量が工場敷地内にある県や町の排水機の能力を超えていたため起こったものであり、今後も安定した操業をしていくには、排水機能力を上げ水害対策を行うことが必要不可欠であるので、協力をお願いしたいとの説明があった。

（2）球磨村神瀬地区

同地区は、令和2年7月豪雨により、道路、橋梁、農地などに大きな被害を受けたところである。

今回の視察では、当時の被災状況や現在の復旧、復興の状況について説明を受け、災害現場を視察した。

県球磨地域振興局長からは、初めは、道がふさがれて入り込めず、その後はコロナの影響で県外からのボランティアが制限されたりということもあったが、現在は国、県等からの支援により、土砂の撤去、大型ごみの搬出を行っている状況であり、今後ボランティアについても引き続き呼びかけを行っていくとの説明があった。



(3) くま川鉄道株式会社川村駅（相良村）

同社は人吉市に本社を置き、沿線自治体の出資で鉄道を運営している第三セクターであるが、令和2年7月豪雨により、大規模な被害を受け、当分全面運休となっている。

今回の視察では、当時の被害の状況、現在の復旧の状況、地域への影響等について説明を受け、川村駅付近を視察した。

同社取締役社長からは、今回の被害は人吉温泉駅と肥後西村駅間で発生しており、人吉温泉駅での土砂流入、車両浸水、球磨川第4橋梁の流失、ここ川村駅の土砂流入、道床流出などで、現在は学校と連携して、代替バスを運行しているが、学校、PTAからは早い復興を望む声が多いとの説明があった。



(4) 八代市坂本支所、道の駅坂本付近

同地区は、令和2年7月豪雨により、道路、橋梁、河川、農業施設、住家及び公共施設など大きな被害を受けたところである。

今回の視察では、当時の被災状況や現在の復旧、復興の状況について説明を受け、災害現場を視察した。

副市長からは、本市では、復旧作業と並行し、住民の御意見を伺いながら12月を目途に復興計画の策定を進めているところであり、県や県議会と連携して復旧復興を速やかに進めていきたいとの説明があった。

